

年 組 名 前 :

道志村「学ぶための休暇」出席に

道志村教育委員会は本年度、村内の児童生徒が校外で家族らといろいろな学びを得るために学校を休んだ場合、年度のうち3日までは欠席日数に含めない取り組みを始めました。「どうし学びの日」という制度です。こうした取り組みは「ラーケーション」と呼ばれ、全国で取り入れる動きが広がっています。ラーケーションは「ラーニング（学習）」

と「バケーション（休暇）」を組み合わせてつくった言葉です。村教委によると、体験を



ラーケーションについての説明を受ける新入生ら
|| 道志中

伴う家族旅行や高校見学のほかに、美術館見学などの文化活動、農業体験といった体験学習などが対象です。外出しなくても自宅で家族が進路や学校生活、友人関係の悩みを話し合う時間に充てることも認めています。村教委の担当者は「学校を休むことを必要以上に避ける風潮を見直し、適切な理由があれば柔軟な対応も学びの一環と認める考えを知ってもらいたい」としています。

(2026年4月16日付 山梨日日新聞 週刊こぴっと10面)

問1 道志村教育委員会が本年度から始めた「どうし学びの日」制度は、なにを得るために学校を休んだ場合に欠席にしない制度ですか。

.....

問2 「ラーケーション」とは、なにとなにを組み合わせてつくった言葉ですか。

..... と

問3 あなたは、この取り組みについて、どのように考えますか。自由に教えてください。

.....

.....